



2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

上場取引所 東

コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 朱峰 玲子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 家島 広行

TEL 03(5411)7222

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	972	2.7	47	90.6	51	75.0	34	82.6
2022年6月期第2四半期	946	2.7	24		29		18	217.6

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 34百万円 (139.2%) 2022年6月期第2四半期 14百万円 (148.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	2.96	
2022年6月期第2四半期	1.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	2,060	522	25.3
2022年6月期	1,805	487	26.9

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 520百万円 2022年6月期 485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期の配当予想につきましては、現時点で未定であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	2.8	55	83.9	60	60.9	40	136.9	3.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	11,492,100 株	2022年6月期	11,492,100 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	48 株	2022年6月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	11,492,052 株	2022年6月期2Q	11,492,052 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウィズコロナへのシフトが進み、景気の持ち直しが期待されております。一方、長引くロシアウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰、世界的なインフレ圧力などによる世界経済の減速による下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は戻りつつある中で、コロナ禍での顧客ニーズの多様化などにより利用客の増加や顧客単価も上昇してきております。

このような状況のもと、引き続き、当社グループにおきましても、新たな収益の柱となるコンテンツの創出に注力しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、直営サロン運営事業、キャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったため、全社としても前年同期に比べ増収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前年同期に比べ増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高972,334千円（前年同期比2.7%増）、営業利益47,039千円（前年同期比90.6%増）、経常利益51,731千円（前年同期比75.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益34,032千円（前年同期比82.6%増）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗（モッズ・ヘアサロン11店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、コロナ禍での各種施策を引き続き継続しており、既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移しました。セグメント損益につきましては、セグメント利益となりました。なお、この先のウィズコロナ、アフターコロナ時代の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、従業員の不安を解消するとともに人材育成に引き続き注力しております。

当第2四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高478,072千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益35,628千円（前年同期比338.3%増）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第2四半期連結累計期間の店舗数の異動は、国内の閉店3店舗、韓国での閉店1店舗により、減少4店舗となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内40店舗、韓国16店舗、台湾2店舗及び中国3店舗の計61店舗となっております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、プライベート商品（PB商品）をはじめとした商品販売に引き続き注力することにより、PB商品売上は堅調に推移しております。一方で、BSサロンの閉店店舗の影響などにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高147,498千円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益61,256千円（前年同期比6.2%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、ブライダル部門において婚礼数が戻ってきており、スタジオ部門においても堅調に推移しておりますが、原価の値上げなどの影響により、当第2四半期連結累計期間は売上高195,900千円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益8,069千円（前年同期比49.4%減）となりました。

(美容室支援事業)

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、株式会社ティビィシィ・スキヤットとの提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、先述しましたとおり、株式会社ティビィシィ・スキヤット、ENECHARGE株式会社、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移しておりますが、季節変動的な要因と事業拡大に向けた人件費等のコストが先行した結果、売上高60,586千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益36,279千円（前年同期比9.2%減）となりました。

(キャリアデザイン事業)

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高136,204千円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益11,407千円（前年同期比207.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ255,192千円増加し、2,060,417千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の増加41,427千円、売掛金の増加10,085千円、未収入金の増加232,830千円、のれんの減少7,709千円、商品の減少2,179千円などによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ220,429千円増加し、1,538,180千円となりました。主な要因としましては、未払金の増加248,674千円、長期借入金の減少14,791千円、株主優待引当金の減少5,527千円などによるものであります。

なお、資産科目の未収入金の増加232,830千円のうち237,755千円増加、負債科目の未払金の増加248,674千円のうち227,479千円増加は、美容室支援事業のクレジット決済代行サービスの取扱高の拡大によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ34,762千円増加し、522,236千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益34,032千円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ41,427千円増加し、613,162千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は54,585千円（前年同四半期は得られた資金20,393千円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益51,731千円、減価償却費6,881千円、のれん償却額7,709千円、売上債権の増加額20,541千円、株主優待引当金の減少額5,527千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は9,384千円（前年同四半期は得られた資金

2,575千円)となりました。これは主に差入保証金の回収による収入9,697千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は22,347千円(前年同四半期は得られた資金19,319千円)となりました。これは社債の償還による支出7,000千円、長期借入金の返済による支出14,791千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2022年8月18日付「2022年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年2月13日)公表の「2023年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	571,734	613,162
受取手形及び売掛金	110,618	120,704
商品	71,559	69,379
未収入金	717,899	950,729
その他	26,941	24,408
貸倒引当金	△3,342	△1,607
流動資産合計	1,495,410	1,776,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	274,484	269,874
減価償却累計額	△230,415	△230,042
建物及び構築物(純額)	44,068	39,832
工具、器具及び備品	67,798	68,112
減価償却累計額	△54,668	△55,906
工具、器具及び備品(純額)	13,130	12,205
その他	5,440	5,440
減価償却累計額	△3,588	△4,078
その他(純額)	1,852	1,362
有形固定資産合計	59,050	53,400
無形固定資産		
のれん	70,998	63,289
その他	1,861	1,590
無形固定資産合計	72,859	64,880
投資その他の資産		
投資有価証券	37,878	38,835
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	8,758
差入保証金	121,805	112,153
繰延税金資産	2,695	1,695
その他	8,691	6,029
貸倒引当金	△34,754	△34,754
投資その他の資産合計	177,283	164,927
固定資産合計	309,193	283,207
繰延資産		
社債発行費	620	434
繰延資産合計	620	434
資産合計	1,805,224	2,060,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,845	14,200
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	30,847	26,676
未払金	844,552	1,093,226
未払法人税等	13,166	18,708
未払消費税等	27,934	27,525
賞与引当金	2,136	—
株主優待引当金	10,619	5,091
契約負債	22,599	23,289
その他	42,821	38,506
流動負債合計	1,118,522	1,361,225
固定負債		
社債	16,000	9,000
長期借入金	61,758	51,137
受入保証金	61,000	55,500
資産除去債務	18,565	18,605
退職給付に係る負債	2,123	2,466
役員退職慰労引当金	13,200	13,999
その他	26,580	26,246
固定負債合計	199,228	176,955
負債合計	1,317,751	1,538,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	517,040
資本剰余金	119,189	119,189
利益剰余金	△149,496	△115,463
自己株式	△13	△13
株主資本合計	486,720	520,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,224	△494
その他の包括利益累計額合計	△1,224	△494
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	487,473	522,236
負債純資産合計	1,805,224	2,060,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	946,944	972,334
売上原価	661,176	675,126
売上総利益	285,768	297,207
販売費及び一般管理費	261,093	250,168
営業利益	24,674	47,039
営業外収益		
受取配当金	10	340
受取利息	2	3
為替差益	215	-
助成金収入	2,940	61
貸倒引当金戻入額	1,161	2,863
違約金収入	-	2,310
その他	1,533	865
営業外収益合計	5,865	6,442
営業外費用		
支払利息	778	1,153
社債発行費償却	186	186
為替差損	-	197
その他	21	213
営業外費用合計	986	1,750
経常利益	29,553	51,731
特別利益		
新株予約権戻入益	230	-
特別利益合計	230	-
特別損失		
固定資産除却損	197	-
店舗閉鎖損失	976	-
特別損失合計	1,174	-
税金等調整前四半期純利益	28,608	51,731
法人税、住民税及び事業税	9,975	17,698
法人税等合計	9,975	17,698
四半期純利益	18,633	34,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,633	34,032

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	18,633	34,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,100	730
その他の包括利益合計	△4,100	730
四半期包括利益	14,532	34,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,532	34,762
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,608	51,731
減価償却費	6,856	6,881
のれん償却額	7,709	7,709
助成金収入	△2,940	△61
店舗閉鎖損失	976	-
有形固定資産売却損益(△は益)	0	-
有形固定資産除却損	197	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60	△1,734
契約負債の増減額(△は減少)	1,041	690
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△4,193	△5,527
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	800	799
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	342	342
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,142	△2,136
受取利息及び受取配当金	△13	△343
支払利息	778	1,153
売上債権の増減額(△は増加)	△23,706	△20,541
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,107	2,195
仕入債務の増減額(△は減少)	2,238	4,354
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,900	△408
リース投資資産の増減額(△は増加)	4,678	5,114
新株予約権戻入益	△230	-
その他	2,238	24,775
小計	26,509	74,994
利息及び配当金の受取額	13	343
利息の支払額	△814	△1,138
助成金の受取額	2,940	61
法人税等の支払額	△8,255	△23,225
法人税等の還付額	-	3,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,393	54,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△798	△313
差入保証金の回収による収入	4,622	9,697
その他	△1,248	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,575	9,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
長期借入れによる収入	40,000	-
長期借入金の返済による支出	△13,125	△14,791
リース債務の返済による支出	△555	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,319	△22,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	△195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,504	41,427
現金及び現金同等物の期首残高	521,450	571,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,955	613,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアアデ ザイン事業	計		
売上高	445,418	167,824	203,280	62,422	111,315	990,262	△43,317	946,944
セグメント利益	8,127	65,271	15,936	39,959	3,704	132,999	△108,324	24,674

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,324千円には、棚卸資産の調整額367千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,692千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアアデ ザイン事業	計		
売上高	478,072	147,498	195,900	60,586	136,204	1,018,262	△45,928	972,334
セグメント利益	35,628	61,256	8,069	36,279	11,407	152,639	△105,600	47,039

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,600千円には、棚卸資産の調整額△246千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。